

第5回地域課題解決の仕組みづくり会議議事録

日 時：平成28年10月17日（月）15時～17時

場 所：あしや市民活動センターリードあしや 会議室C

出席者：朝倉己作（(特活)芦屋市手をつなぐ育成会）宇佐見裕子（精道小学校 smile ねっと）金木友子（精中応援隊）加茂田圭（芦屋市公光郵便局）小泉星児（芦屋市商工会青年部）三芳学（(社福)芦屋市社会福祉協議会）辻本久夫（こくさいひろば芦屋）長城紀道（芦屋法律事務所）
芦屋市企画部市民参画課山田課長 谷野係長
芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや 橋野

1 プレゼンテーション資料、パンフレットについての意見交換

○予算が明記されていない。

- ・自己資金を求められない助成金、賞に申請する。
- ・商工会の若手育成制度の申請を考える。
- ・円谷プロとの会談（11月7日）後に詰める。
- ・行政からの支援金援助は難しい、場所と人の提供と後援名義を期待する。

○プレゼン資料構成について

- ・ウルトラマンとウルトラセブンが混在しているため、統一したほうが良い。
- ・この事業を行う効果が明確に書かれていない。
「777プロジェクトのその後」に軽く書かれているが、継続性等を明確化したほうがよい。
- ・事業に協力してくれる団体、子どもたちの意見を入れるためには、考える余地を入れておいたほうがよい。
- ・「芦屋市の子どもたちを取り巻く課題」（2ページ上）
黒字の個々の課題を消し、青字のみを表記し、現在行われている子ども関連事業を記載し、それだけでは足りないことをPRする。
- ・「777プロジェクトの目的」（2ページ下）
郷土愛の「愛」は押しつけのように感じられるので、「まちを好きになる」に変えてはいかがか。
- ・「777プロジェクトの背景」（3ページ上）
写真を市役所のものと取り換える。
- ・「777プロジェクトのイメージ」
呼びかける団体に「地域（任意）団体」を含める。

2 今後の取り組み

- ・円谷プロとの会談後の会議で再度資料をまとめ、認識のある団体へそれぞれが声

掛けをする。学校関係は、精道小学校 smile ネット、精中応援隊、リードあしやが説明に伺う。

- ・ 10月23日（土）までに、資料を更新しMLにアップ、円谷プロへの説明までに更新する。

3 その他

- ・ 次回の会議はMLで日程調整する。
- ・ 次々回会議は12月17日（土）16時～18時とし、その後忘年会とする。

以上